第２６回　松本市長と車座集会「みんなの尼活皆議」

＜　ターゲット型（視察・訪問版）西大島ふれあいサロンに来られたみなさまと　＞
対話録概要

と　　き	令和８年８月４日（火）　　午前１０時３０分から正午まで
と こ ろ	西大島会館
出 席 者	参加者　２１人、市長ほか関係者　３人　　計２４人

※午前 10 時 30 分から午前 11 時までは体操、午前 11 時から正午までは車座集会を実施

【市長のあいさつ】

車座集会の視察・訪問版として本日来させてもらっている。車座集会はこれまで生涯学習プラザなどの公共施設で開催することが多かったが、最近では視察・訪問版として地域活動の現場に来させてもらい、意見交換する手法も取り入れている。

先ほどは体操を一緒にさせていただいたが、ここからは意見交換の時間とさせてもらうため、市民として、地域住民として思うことなどについて意見を聞かせてもらいたい。

【意見交換】

〈参加者〉尼崎市は物価高対策として米券を配ったと思うが、郵送料などの事務費が発生するため、物価高対策として活用できる財源の全てが市民への支援に当たらない点について損をしている気がした。また、米券で米以外を購入できる店もあれば、できない店もあり、自分は使いにくさを感じた。

〈市長〉確かに高齢者で単身世帯の方などと話をしていると、自分で米を炊かないという人が結構いる。そのため、米以外も購入できる店舗を市で調べ、市ＨＰで公表するなど少しでも活用してもらえるよう取り組んできた。また、事務的な話になるが尼崎市で実施している米券は精算をすることができ、有効期限までに使われなかった米券相当の財源は市に返ってくるため、余った財源は他の物価高対策などに使える。米券に使いにくさを感じる人もいるかもしれないが、財源を無駄にしない制度設計としている。

〈参加者〉あま咲きコインのプレミアムキャンペーンを実施していると思うが、昨今の物価高騰下ではプレミアムの上限にすぐに達してしまうため、今後キャンペーンをする際は内容を充実してもらいたい。

〈市長〉兵庫県においても、電子地域通貨（はばたんペイ）を活用した物価高騰対策を実施しているため、これらを併用することで県と市の支援策を活用してもらえる。はばたんペイは活用されたか。また本日の出席者の中で、あま咲きコインなど電子地域通貨を利用している人はどの程度いるか。

※電子地域通貨を活用している人は参加者の約１～２割であることを挙手により確認。

〈参加者〉はばたんペイのキャンペーンのことは知っていたが、申込が必要となるなど不明な点が多く利用してない。

〈市長〉市が物価高騰対策を考えるときに、電子地域通貨のキャンペーンに多額の財源を投入したとしても高齢者など、一部の市民に支援が行き渡らないのではという懸念を持っていた。現に本日の参加者も多くの方が電子地域通貨を使っていないことが確認できた。あま咲きコインは市内の店舗でしか使えないという仕組みであるため、市内経済の活性化につながる一方、幅広く市民に支援を行き渡らせるこ

とも考慮し、上下水道の基本料金の減免や米券の配布なども実施したところである。

〈参加者〉あま咲きコインは専用アプリ又はカードにより使用が出来るが、一部の店舗では専用アプリしか使用ができないこともあり、その点は使い勝手が悪い。

〈参加者〉市から助成金をもらい老人クラブ活動をしている。助成金をもらえることは有難いことではあるものの、30人以上集めることが条件となっている。クラブに所属していた人が高齢により脱退する傾向もあり、30人以上の確保は難しい。隣の地域と統合することで人数を確保することも可能かもしれないが、そうなると一つの老人クラブ活動のエリアが広がることによる活動のしにくさにつながることも懸念している。そのため、助成金については30人以下であっても所属する人数に応じて支給されるような制度にしてもらいたい。
〈市長〉指摘のとおりである。30人以上の人を集めることは大変であるし、隣接する地域の老人クラブと統合することも難しいことは理解する。対応策については庁内で検討していく。

〈参加者〉先日発生した熊本地震の影響で、断水被害や復旧の遅れが生じている。尼崎市の水道管の耐震化は進んでいるのか。
〈市長〉水道管の耐震化は決して他市に劣ってはいない。尼崎市では現在、令和２年から11年を計画期間とする「あますいビジョン」に基づき配水管の耐震化を進めている。市内の配水管のうち、特に重要な水道管である基幹管路の耐震化については国の目標値である50％を上回る55％を本市の目標として掲げており、計画期間中の達成を見込んでいる。また、救急医療機関や指定避難所、防災拠点といった重要給水施設に至る配水管の耐震化率も計画終期である令和11年には90％に向上させていくことを目標にしている。この他にも、災害時の漏水被害の局所化や迅速な復旧が行えるよう水道管の配水区域を一定の規模に区切り、水量や水圧などを地域単位で管理するブロック化も進めている。

〈参加者〉大雨が降った際、尼崎市内は浸水の可能性はあるのか。
〈市長〉可能性はゼロとは言えないものの浸水対策も進めている。ＪＲ立花駅の北東部周辺では地面が低くなっていることから過去に浸水が起こった地域となっている。そのため、大雨が降った際に下水道だけでは流しきれない大量の雨水を一時的に地下へ貯め、道路や家屋の浸水被害を防ぐために、当該地域内の雨水貯留管の整備も進めている。また、南海トラフ地震が発生した際には最大４メートルの津波が来ると想定されているが、尼崎市を囲む防潮堤の高さは約４～６メートルで設計されている。こうした対策に完璧はないかもしれないが、しっかりと大規模災害を想定した各種整備をしている。なお、県においても武庫川の川底の土砂などを取り除く河床掘削工事などが行われ、川底を深くすることで多くの水が流れるようにすることで、水害のリスクを減らすような取組もされている。

〈参加者〉高校生の自転車マナーが良くない。大庄地域には小学校と高等学校が隣接する箇所もあり、朝の通学時間帯の児童生徒同士の事故などが起きそうである。自転車の並走も罰則の対象となるし、自転車ルールを守ってもらう必要がある。

〈参加者〉ごみ収集をしている方の人柄がとても良い。散らかっているごみも綺麗に掃いたり挨拶もしてくれて気持ちが良い。

【おわりに】

自身の仕事の中で、生涯学習プラザに来ることがあっても、こうした福祉会館におけるサロンに来ることは普段はないため、本日、来させてもらい皆さんと意見交換ができて良かった。まちが良くなっていくには、色んな方の意見に耳を傾けることであると思っている。本日いただいた意見は庁内で共有し、各種対応や運用改善につなげていきたいと考えている。

以　上